

## 《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例No. 33

区分 消毒薬

### 【質問】

口腔や咽頭などの粘膜に接触する器材を消毒する場合の次亜塩素酸ナトリウム液の適正な濃度と浸漬時間を教えてください。

### 【回答】

口腔や粘膜面と接触する器材は、スポルディングの分類でセミクリティカル器材に該当し、呼吸器に関連するものとして、人工呼吸器回路、ネブライザー嘴管、超音波ネブライザー薬液カップ、蛇管、舌圧子など、食に関連するものとして、薬杯・吸い飲み、哺乳瓶、経腸栄養剤の投与セットなどがあります。

これらの器材の消毒には中水準消毒以上の処理が必要となり、洗浄後に0.01%(100 ppm)次亜塩素酸ナトリウム液を用いて1時間の浸漬消毒が基本となります。人工呼吸器回路、エアウェイ、バイトブロックは、高圧蒸気滅菌が望ましいのですが、滅菌処理ができないエアウェイやバイトブロックは、高濃度の0.1%(1000 ppm)次亜塩素酸ナトリウム液に30分間浸漬するか0.01%(100 ppm)次亜塩素酸ナトリウム液に1時間浸漬する必要があります。

内腔が金属製のバイトブロックは、次亜塩素酸ナトリウム液を使用すると金属腐食を起こして適さないため、材質を確認することも必要です。

また、デイスポージブル製品は、原則として単回使用とすることが求められています。エアウェイ、バイトブロック、舌圧子は、可能な限り使い捨てで使用することが望まれ

ます。

次亜塩素酸ナトリウム液の消毒効果を一定に保つために、熱や直射日光を避けた場所に保管し、また、人体にとっても有害でもあるため、浸漬する容器には蓋をするなどの管理も必要です。

#### 《参考文献等》

- 1) 消毒と滅菌のガイドライン，へるす出版，2014
- 2) これで解決！洗浄・消毒・滅菌の基本と具体策，ヴァンメディカル，2012
- 3) 感染管理・感染症看護テキスト，照林社，2015